

Waca.p

和歌山県文化情報誌
ワカピー Vol.107



- 特集～わかふるコンサート……………2
和歌山で逢いましょう……………3
イベントスケジュール……………4・5
和歌山県名匠表彰・文化表彰受賞者…6
感動発見！文化の「扉」……………7
ピックアップインフォメーション……………8

県ゆかりのアーティストが出演

街に響く 珠玉の生演奏

令和5年度「わかふるコンサート」開催決定

今年も
皆さんの街に
素敵な音楽を
届けます



和歌山県内の公立施設などで開かれる「わかふるコンサート」。生の演奏を聴く機会の提供と、県内で活躍するアーティストの紹介を目的に、和歌山県と和歌山県文化振興財団が平成20年から実施している“街の音楽会”です。出演者は一般公募から選ばれ、様々なジャンルの演奏が披露されるのが特徴。令和5年度も、あなたの街を訪ねます。

身近な施設が会場

わかふるコンサートは、和歌山県・和歌山県文化振興財団が、県民と一緒に元気な地域づくりを目指す文化振興事業のひとつ。公立施設などを会場に、令和5年度は万葉館や紀伊風土記の丘（いずれも和歌山市）、海南ノビノス（海南市）をはじめ、各地で開催されます。普段、文化芸術にふれる機会の少ない方にも気軽に足を運んでもらおうと、観覧は無料。生演奏を体感し、音楽の癒しの力を再発見してもらおうのがねらいです。

反応が直に伝わる

また、同コンサートには、「県内で活躍するアーティストの紹介」という大

きな目的もあります。出演者は毎年、一般公募で選ばれます。

マリンバ奏者の波木基子さんは写真円内＝は日頃から「多くの人に音楽の素晴らしさを伝えたい」と活動しており、誰もが気軽に音楽を楽しめる同コンサートへの出演を続けています。

会場は、音楽ホールなどと異なり壇上ステージは無く、目線はイスに座る観客と同じ。最前列の人とは、手を伸ばせば届きそうな近さです。「この距離感が、わかふるコンサートならではの魅力。お客さまの反応がダイレクトに伝わってくるんですよ」と瞳を輝かせる波木さん。空気を震わせる生演奏の迫力に会場がハッと息をのんだり、おなじみの曲では観客席からリズムをとる音や歌詞を口ずさむ声が聞

こえてきたり。「一緒に音楽を共有しているんだなとうれしくなります」。心の距離も近くなるのか、終演後に駆け寄ってきた観客から「よかったよ!」「また聴かせてね」と親しく声をかけてもらうことも多いそう。「ふらりと散歩ついでに立ち寄るような身近な場所が、わかふるコンサートの会場です。リラックスしながら音楽を味わっていただけます。ぜひ生の演奏にふれてください」と呼びかけています。

令和5年度わかふるコンサートの
詳細は、次号のWaca.p(108号)
に掲載します。ご期待ください!!



▶わかふるコンサートで演奏する波木さん(中央奥)。「お客さまと演奏者の距離が近く、音楽を肌で感じられます」と魅力を語ります。(昨年12月、串本町の南紀熊野ジオパークセンターで)

和歌山

wakayama

で逢いましょう

5月21日^①、新宮市丹鶴ホールで「南こうせつコンサートツアー2023〜夜明けの風〜」が開催されます。世界遺産のまちに響く、やさしい歌声に期待が高まっています。公演にかける想いを聞きました。



笑顔の未来に向け 希望のメッセージを 届けたい

フォークシンガー 南 こうせつ
MINAMI KOSETSU

大分県出身。1970年にデビュー。直後に「かぐや姫」を結成し「神田川」「赤ちょうちん」「妹」等、数々のミリオンセールスを記録。解散後もソロとして「夏の少女」「夢一夜」等のヒット作品を発表。一方、深夜放送などでもユニークなキャラクターと巧みな語り口で、人気パーソナリティーとなる。デビュー50年を超えた現在もコンサートを中心に活動する一方、九州で田舎暮らしを続け、一個人として自然に向き合う中で独自の価値観を構築し、多くの共感を得ている。

——コンサートツアーのタイトル「夜明けの風」には、どのような意味を込めていらっしゃるんですか。

3年以上に及ぶコロナ禍の中で、人々の暮らし方は一変しました。まだ先の見えない不安な日々ではありますが、悲観的にならず、近いうちに必ず笑顔を取り戻す日が来ると信じ、この先の希望のメッセージをお届け出来ればと歌い続けています。

——誰もが口ずさむ名曲を数多く世に送り出しました。曲づくりにおいて、大切にされていることを教えてください。

まずは詩の中にあるメロディーをイメージし、そこから口ずさみながら作ってゆきます。

——コンサート会場となる新宮市は、豊かな自然と世界遺産で知られる魅力あふれる街です。楽しみにされていることをお聞かせください。

僕の記憶では、確か50年くらい前に、「かぐや姫」と「BUZZ」のジョイントコンサートで伺



いました。次の日の朝、雨模様でしたが、僕とBUZZの(小出)博志の二人で熊野川で魚釣りをしました。とても綺麗な川面で、あの岸边からの風景は今でもハッキリと覚えています。

——コロナ禍も次の段階に移り、お客さまが入ってのライブです。会場に集った皆さんとどのような時間を過ごし、どのようなことを伝えたいですか。

お客さんと同じ空間で、お客さんの表情を感じながら演奏出来ることに感謝し、ライブでの音楽を通して皆さんとの温かい時間を、音楽の楽しさを共感できれば最高です。



5/21^①

南こうせつ 【世界遺産のまち 新宮市で開催！】
コンサートツアー2023
～夜明けの風～

完売御礼

※詳細は4-5ページをご覧ください

4月

和歌山県 ダンスフェス2023

4月30日(日) 開演13:30
(開場13:00[約3時間])
和歌山県民文化会館 大ホール



入場無料(自由席)

2021年に続いてMCはこの人!!

MACCHAN (まっちゃん)

モータルコンバットメンバー。圧倒的なスピードと回転数のバックスピンを得意技とし、全国各地の大会で優勝。「BACKSPINBOY」と呼ばれる。現役ダンサーとして活躍するほか、ダンスイベントでの司会進行も担当するマルチプレイヤー。



出演順(14団体)

- 喜笑花(きしょうか)[よさこい(和歌山市)]
- PUPPET CLUB[フリースタイル(和歌山市)]
- ANIANI Hula Studio[フラダンス(新宮市)]
- Studio Staging[バレエ・ジャズダンス(和歌山市)]
- PROGRESS[ジャズダンス(和歌山市)]
- GLITTER[ジャズダンス(和歌山市)]
- 華縄麗(かじょうるい)[ダブルダッチ(和歌山市)]
- 向陽高等学校バトン部[ポンポン(和歌山市)]
- Yalla Yalla Belly[ベリーダンス(和歌山市)]
- サン・スマイルいわで[ブレイクダンス(岩出市)]
- TooN-B★[ジャズダンス(岩出市)]
- MORTAL COMBAT[ブレイクダンス(スペシャルゲスト)]
- 橋本高校ダンス同好会[創作ダンス(橋本市)]
- HOMIES 岩出studio[ストリートダンス(岩出市)]



《《 スペシャルゲスト 》》

モータル

コンバット

MORTAL COMBAT

2024年パリ五輪を狙うブレイクダンスチームが
県文へ!世界最高峰の迫力ある演技を見逃すな!

常識や形にとらわれず、独自のマインドで進化し続けるブレイクダンスチーム。他を圧倒する唯一無二の存在感と革新的な表現力は、ブレイクダンスの枠を超え、オールジャンルかつワールドワイドにその名を知らしめている。ストリートダンス最高峰『JAPAN DANCE DELIGHT』をはじめ、世界大会で優勝・入賞経験多数。2024年パリ五輪を射程に収める、いまもっともホットな集団。

5月

笑顔の未来に向けた希望の応援ソング ～和歌山で逢いましょう～

南こうせつ コンサートツアー 2023

～夜明けの風～[新宮市で開催]

完売御礼

5月21日(日) 開演16:30

新宮市丹鶴ホール(新宮市下本町2丁目2-1) 6,800円 ※全席指定(未就学児入場不可)



6月

神田伯山独演会(講談)

6月18日(日) 開演14:00

和歌山県民文化会館 小ホール

3,800円

※全席指定(未就学児入場不可)

完売御礼



6月

学校向け事業[伝統文化教育]

落語鑑賞会(桂米朝一門会)

次代を担う子どもたちのために、生の伝統芸能に触れる機会を設け、日本の伝統文化の良さや豊かさに気づくことで、自国に誇りと愛着をもち、アイデンティティを高めることを目的に開催します。

6月7日(水) 開演13:30

和歌山県民文化会館 小ホール(予定) 小・中・高校生500円

※引率者無料



桂 米團治



桂 ちょうぶ



桂 米紫



桂 二豆



桂 天吾

参加校募集

[4月21日(金)必着]

※一般の方の入場はできません



ホームページ



Twitter



Instagram

主催

●和歌山県

●(一財)和歌山県文化振興財団

7月

辻井伸行(ピアノ)

マルク・ルロワ=カラタユー指揮 オーケストラ・アンサンブル金沢
《古典派からロマン派へ》

7月16日(日) 開演14:00

和歌山県民文化会館 大ホール

S席 9,500円

A席 7,500円

B席 5,000円 ※全席指定(未就学児入場不可) **【好評発売中】**



オーケストラ・アンサンブル金沢



【指揮】マルク・ルロワ=カラタユー ©Cyril Cosson



【ピアノ】辻井伸行 ©Yuji Hori

8月

第51回 和歌山県新人演奏会 オーディション

8月11日(金・祝) 開演13:00(開場12:30)

和歌山県民文化会館 大ホール

無料

出演者募集

【7月2日(日)必着】

【募集要項】

【応募資格】

- 20歳以上35歳以下(2023年4月1日現在)
- 和歌山県出身者、在住者、勤務者、在学生、卒業生
- 合格の場合、11月12日開催の「和歌山県新人演奏会(本公演)」に出演可能な方
- 過去「和歌山県新人演奏会」に出演された方は、応募できません。※アンサンブル部門は除く

【出演部門】クラシックまたは邦楽演奏(生演奏に限る)声楽・楽器・作曲・邦楽・アンサンブル(8名編成まで)

【演奏時間】5分以内(曲のカットは任意)

【演奏曲目】自由(合格の場合、本公演で演奏する曲)

【参加費】無料

【オーディション合格者達による輝きのステージ】 第51回 和歌山県新人演奏会

11月12日(日) 開演13:30

和歌山県民文化会館 大ホール

1,000円 ※高校生以下無料(未就学児入場不可)

【特別奨励賞10万円/奨励賞5万円 授与】

9月

劇団四季ミュージカル「クレイジー・フォー・ユー」

9月23日(土・祝)

和歌山県民文化会館 大ホール

開催決定!!

観るだけで、幸せになれる。これぞミュージカルコメディの決定版! ラブコールに応じて8年ぶりに贈る、とびきりハッピーな舞台をぜひ、お見逃しなく!!



撮影:荒井 健

和歌山県名匠表彰とは、伝統的な技術文化の向上・発展に功績のある人に贈られる賞です。



深みのある黒い墨を硯で擦ると、ほのかに煙の匂いが立ち上る。筆を浸し、和紙の上を走らせれば、にじみがほんのりと広がりを見せる。それが紀州松煙墨です。

赤松を燃やして出る煤(すす)を原料とする松煙墨は、奈良時代から続く伝統がありながら、1950年代に重油や石炭を原料とする安価な墨にとって代われ、途絶えました。

35歳で田辺市に移った堀池さんは90年代初め、紀州松煙墨作りを開始。赤松を燃やし煤を取り、膠(にかわ)を練り込む。型から取り出した後は灰をかけて乾燥させます。完成まで短くて半年、近年は出荷まで3年は寝かせます。

伝統製法を復活させた松煙墨は、インターネットの普及もあり、徐々に良さが認められていきます。その後、「青色の墨を作って欲しい」との依頼に応え、彩煙墨を開発。「色の

アート活用で技の継承を

紀州松煙墨製作 **堀池 雅夫** さん
(ほりいけ まさお)

1951年、静岡県清水市(現・静岡市)生まれ。東京で会社勤めをした後、80年代後半に妻の実家がある田辺市へ移住し、家業の製煤(せいばい)業に就く。90年代初め、40年ほど途絶えていた紀州松煙墨作りを開始。昔ながらの製法が評判となり愛用者が増え、90年代後半には色付きの彩煙墨を開発する。近年は書以外に画材としての活用が増え、魅力を世界に向け発信し続けている。

混ざり具合で、複雑な表現ができる」と絵の具とは異なる墨特有のにじみに、外国人が興味を持つことも増えました。

再興時も今も日本唯一の松煙墨職人です。「墨は、書や絵画のアートに活用して初めて生きる。伝統の技の継承は使ってもらうこと」と自ら絵を指導し、また、「日本特有の画材として、海外も含め芸術家に訴える」と思いを込めます。



樹脂の多い赤松の木を12ある小部屋に並べて燃やす。1日10時間、10日間続けてやると、松煙と呼ばれる煤を取ることができる。後に開発した彩煙墨は、当初5色でスタートし、現在は50色近くまで広げた。松煙墨と重ねると、より深い趣をだすことができる。

和歌山県文化表彰とは、文化の向上・発展に特に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



豊かな緑や農地を次世代へ受け継ぐには、どうすれば良いか。公害が大問題だった学生時代から、持続可能な社会を目指す「サステナビリティ学」に取り組んでいます。

幼いころ、備長炭を焼く現場に触れたことが原体験にあります。水田やため池、果樹園など、人が手を入れ、存続させてきた里山を例に、自然を守る「SATOYAMAイニシアティブ」を提唱。しかし、「自然は原生のまま保全することが尊い」と考える欧米に受け入れられませんでした。それでも粘り強く訴え、里山の意義がアフリカ諸国などから徐々に世界に浸透。当初、日本は対象外だった世界農業遺産を、日本など先進国も認定対象となるよう尽力しました。

里山維持には、都市近郊ではシニア世代がボランティアで取り組み、健康維持につながる副産物も。一方、それ以外

持続可能な社会を目指して

環境学者 **武内 和彦** さん
(たけうち かずひこ)

1951年、和歌山市生まれ。城北小、伏虎中、清風南海高(大阪)から東京大学へ。「人間と自然の良い関係づくり」をテーマに、同大学院では農学を専攻。東京都立大学助手などを経て東京大学大学院農学生命科学研究科教授。2008年に国連大学副学長、17年から地球環境戦略研究機関理事、19年には東京大学未来ビジョン研究センター特任教授なども兼務している。

外の地域は、バイオマスとしての再生が重要と強調します。

温暖化を背景に循環型社会実現が急がれる中、「再生可能エネルギーに道筋を付けることで脱炭素社会が見える。カギはこれからの10年」ときっぱり。多くの人に環境に関心を持ってもらうことが実現につながるの思いにあふれています。



「みなべ・田辺の梅システム」が2015年末、世界農業遺産に認定されたのを受け、16年3月に田辺市の紀州石神田辺梅林を訪問。梅農家の石神忠夫さん(左)から梅林について話を聞く武内和彦さん(右)と国連大学の永田明さん(中)

感動発見！文化の「扉」

和歌山を拠点に、文化・芸術活動に取り組む団体をご紹介します。
知る、まなぶ、体験する場に、加わってみませんか。

絵 画

人物デッサン会

モデルが醸す“一瞬”を描く

鉛筆、クレパス、木炭など好きな画材で描くデッサン会を、毎月第2日曜日に開催。国内外で活躍する千光士道志(せんこうしどうし)代表が2017年に立ち上げました。「絵を描くのが好きな人のために場所を提供し、和歌山でアートの火を絶やさないよう取り組んでいます」。

目の前にいるモデルを観察し、表情や服の質感、光の当たり方まで、その日、その場でしかとらえることができない“瞬間”を大事にしています。緊張感漂う教室の雰囲気は、集中力を高めてスケッチブックと向き合うための心配り。千光士さんは「例えば、筆のタッチや表現などは、その人の持ち味なので、修正するような指導はしません。一方で、納得のいく絵が描けなかったとしても、失敗はその時にしか生まれないひとつの味わい。心ゆくまで楽しんで描いてほしい」と話します。

代表
千光士道志さん
Profile

大阪府枚方市出身。独学で絵画制作を始め、国内を皮切りにロンドンでも個展を開催。2016年、新構造和歌山支部展県知事賞、17年に東京都美術館新構造展で彩美堂賞など受賞多数。海外での個展に向け、和紙を使ったちぎり絵を制作中です。

デッサン会での作品



「和歌山でアートの火を燃やし続けたい」と語る千光士道志さん



デッサン始めませんか

毎月第2日曜午後1時半・県民文化会館4階会議室。現在、毎回5人程度が参加。画材は各自持参。2,500円。着衣はもちろん、夏場には県内で数少ないヌードのデッサン会も実施(3,500円)。見学無料。問い合わせは千光士さん☎090-3926-3095。

ダンス

ヤッラーヤッラーベリー

アラブの魅力あふれる妖艶な舞

古代エジプト発祥の「ベリーダンス」。お腹や腰を細かく震わせたり、なめらかにくねらせる独特の踊りは、女性らしさがにじみ出る妖艶なダンスです。

和歌山市船所の「ヤッラーヤッラーベリー」は、女性専用ベリーダンススタジオ。「『ヤッラー』とは、アラビア語で『Let's go』を意味します。一緒にベリーを楽しもう!との思いで名付けました」と代表のMISAKIさん。スタイルアップやストレス発散にと、20~60代と幅広い年齢の女性が集い、中には10年以上通っている方もいます。

この春の発表会は4年ぶり。「今回の舞台のために、振り付けを一から考えました。私が演奏するアラブ民族楽器の太鼓に合わせて皆が踊るシーンもあるんですよ。華麗な衣装、情熱的なダンスをぜひ見に来てください」と呼びかけています。

代表
MISAKIさん
Profile

カルチャースクールでベリーダンスを習ったことから、本格的にレッスンを開始。3年間のアシスタントを経て、エジプトで本場のベリーダンスを学ぶなど、研鑽を積みました。2016年、スタジオ設立。外側からも内側からも美しく健康的な体づくりを目指しています。



4年ぶりとなるステージに胸が躍ります

代表のMISAKIさん(手前)とミドルクラスの皆さん



4/16 県文で発表会

4月16日⑨午後4時、和歌山県民文化会館小ホール。アラブ伝統の太鼓生演奏や、『タイタニック』などの映画音楽に合わせたオリジナルダンスを披露。出演者の輝く表情にも注目。2,000円。問い合わせはMISAKIさんメールinfo@yalla-yalla-belly.com

県文会議室

午前、午後、夜間いつでも

1,000円

文化教室や
会議、面接、
勉強会で
大人気!!

全室、有線LAN
フリーWi-Fi(無料)

サービス実施中!
※18名会議室12室対象

県文展示室

みんなの作品で街を元気にしよう!
展示室15%値下

1週間

利用で

約**4万円**
[1日約5,700円]

※展示室全4室対象/上記は特設展示室の料金



約500台収容の駐車場あり / 40分100円 / 24時間料金600円

ピックアップインフォメーション

片男波公園万葉館

企画展「万葉水墨画展」

4月6日(木)～7月9日(日)

9:00～17:00

※最終日は15:00まで

和歌山で活動している水墨画講師、三浦賢三氏とその生徒の水墨画作品展を開催。
和歌山の風景を描いた、魅力いっぱいの水墨画約26点を展示します。



「竹夷(ちくそう)」三浦賢三

和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎073-446-5553 9:00～17:00(入館16:30まで)
※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 入館無料

和歌山県立博物館

企画展「川とともに生きる一川と人の関係史」

4月23日(日)まで開催中

人々に恩恵はもとより、時に災難をもたらす川。歴史における川と人のかかわりを、様々な作品から紹介します。

特別展「きのくにの小浪華ー湯浅ゆかりの文人の書画ー」

4月29日(土・祝)～6月18日(日)

裕福な商人らが文芸を嗜み、交流した江戸時代の湯浅。商都として繁栄し、浪華(大坂)を思わせる地方都市でした。湯浅ゆかりの文人がのこした書画を中心に展示し、文芸活動の足跡をたどります。



花鳥図 馬上清江筆
(特別展 きのくにの小浪華)

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 企画展/一般280円(団体230円)、大学生170円(団体140円) 特別展/一般520円(420円)、大学生310円(250円) ※無料=高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生(団体は有料。入館者が20名以上の場合)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立紀伊風土記の丘

春期企画展「岩橋千塚古墳群のはじまり ～花山地区の古墳～」

6月18日(日)まで開催中

9:00～16:30

岩橋千塚古墳群は10地区に約900基の古墳が点在しています。このうち、最も古い花山地区には4世紀末～5世紀初頭に古墳が形づくられた、いわば同古墳群「はじまりの地」。ここから出土した玉類や鉄剣など副葬品を通じて、花山地区の古墳の特徴や時期的な変遷を紹介いたします。



花山古墳群玉類

花山古墳群鉄剣

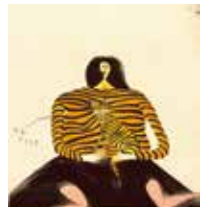
和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123 9:00～16:30(入館16:00まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 一般190円(150円)、大学生90円(70円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

和歌山県立近代美術館

特別展「とびたつとき 池田満寿夫とデモクラートの作家」

4月9日(日)まで開催中

マルチタレントとして知られた版画家・池田満寿夫を中心に、池田が交流したデモクラート美術家協会の作家たちの1950年～1960年代後半の作品を展示。世界を席巻することになる戦後日本の版画を見直します。



池田満寿夫《私の詩人、私の猫》1965
広島市現代美術館蔵

コレクション展 2023-春 特集:新収蔵 奈良原一高の写真

5月7日(日)まで開催中

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 特別展/一般800円(640円)、大学生500円(400円) コレクション展/一般350円(270円)、大学生240円(180円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)。毎月第4土曜日「紀陽文化財団の日」は大学生無料

和歌山県立自然博物館

干潟の生物観察会①

5月21日(日)11:00～13:00

潮が引くと現れる干潟で、エビやカニ、魚などの生物を観察します。干潟という特別な環境に生息する生き物たちに触れて、干潟の生態系や環境にとっての役割などを学んでみませんか?



■開催場所: 田辺市新庄町 内之浦干潟親水公園
■募集対象: 小学生以上一般(小学生は保護者同伴) ■定員40名 ■費用: 無料
■申込方法: 往復はがきで申込。4月30日締切(多数の場合抽選。1組1通、複数応募は無効)。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては中止になる可能性があります。

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777 9:30～17:00(入館16:30まで) ※月曜(月曜が休日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3) 一般480円(350円) ※高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料。団体割引あり(20名以上)

有田川鉄道公園・有田川町鉄道交流館

鉄道乗車でノスタルジー満喫

廃線になった有田鉄道の車両等を保存・展示しています。往年の車両「キハ58 003」と、レールバス「ハイモ180-101」「フラワ1985-2」が並び、実際の線路を使っの乗車体験は、大人子ども問わず大人気(運行は土日祝)。春は沿線の桜も楽しめます。また、鉄道交流館には有田川町を再現したジオラマが設置されており、鉄道模型の運転も可能(有料)。最新情報は同館FBで。



有田川町徳田124-1 ☎0737-52-8710 10:00～17:00 ※水曜・木曜(休日の場合営業)、年末年始(12/29～1/3) 鉄道交流館入館料/一般200円・小中学生100円 乗車体験/一般200円・小中学生100円 ※団体(約10人以上)事前申込で実施日以外も運行可能

けんぶん友の会のご案内

うれしい会員特典

☆入会金・年会費「無料」

☆主催公演チケットの優先予約

☆会館プレイガイド取扱チケットの電話予約

☆文化情報の発送(年4回)



その他特典も! 詳しくはお問い合わせください。

和歌山県民文化会館友の会事務局

〒640-8269 和歌山市小松原通 1-1

☎073-436-1331



問合せ

※本冊子掲載の情報は令和5年3月9日現在のものです。以降、日程変更や中止等の場合がありますので、お出かけの際はあらかじめ施設・主催者等に直接お問い合わせください。

※表紙のひと※



クラリネット奏者 南方 美穂 さん
MINAKATA MIHO

和歌山市出身。同志社女子大学芸術学部音楽学科卒業。第42回和歌山県新人演奏会奨励賞を輩頭に受賞多数。日本クラシック音楽コンクール全国大会、長江杯国際コンクール入賞。関西テレビ「関西発! メジャー音楽学園」にレギュラー出演し、KANSAI COLLECTIONのオープニングアクトを務める。現在、関西を拠点に活動するとともに、アウトリーチや後進の指導にも尽力。大阪市のベル音楽サロンクラリネット講師。和歌山文化協会会員。4月30日(日)、和歌山城ホールで初のソロリサイタルを開催する。

写真: ©Shigeto Imura

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts Power

2023年

4・5・6月号

発行/和歌山県

編集・問い合わせ/一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

ホームページアドレス/ <http://www.wacaf.or.jp>

令和5年4月発行 Vol.107

Waca.p